

# ままちの資産を みてもみよう「水道編」

市は、おいしく安全な水を安定して供給するため、計画的に水道事業を運営しています。今号では、平成13年度の予算執行状況をお知らせするとともに、平成12年度の決算を基にした『バランスシート』を通して、水道事業の資産や負債などの状況をご説明します。

## 水道事業は 市が経営する 『公営企業』

水道事業は、税金を財源としている一般会計などとは違い、水道料金収入を主な財源として経営を行う『公営企業』です。

公営企業も一般会計と同様に、『住民福祉の向上』を目的に事業を行っていますが、効率的に事業を推進していく必要があるため、民間企業のように常に合理的・能率的な経営活動が求められます。そのため、会計方式は、一般会計で行っている『単式簿記』とは違い、民間企業などの経理で用いられている『複式簿記』を採り入れ、資産や負債の管理を行っています。

## 水道事業の 資産と負債

表1（7ページ）のバランスシート

は、平成12年度決算時点での水道事業の経営状態を表しているもので、借方（左側）に浄水場の土地や建物などの『資産』を、貸方（右側）には支払いが終わっていない『負債』と企業債などの『資本』を計上しています。このバランスシートにより、資産がどの財源から調達され、どのように使われたのかなどを把握することができます。

### ■資産の部

『固定資産』とは、浄水場の『土地・建物』や配水池、配水管などの『構築物』など、長期にわたって使用するもので、その総額は約72億5千万円で、資産の約96%を占めています。

また、『流動資産』とは、現金や1年以内に収入として見込まれる水道料金である『未収金』などのことで、約2億6千万円。資産の約4%を占めています。

### ■負債の部

『流動負債』とは、1年以内に支払わなければならない短期の債務のことで、支払いが終了していない債務である『未払金』や、委託を受け徴収した下水道使用料の預かり金を計上した『その他』などを表しています。

表1から、4月以降に支払わなければならないお金が、約3千200万円あるということになります。

### ■資本の部

『資本金』とは、昭和42年に公営企業を開始する際に保有していた資本などの『自己資本金』と、水道施設の建設などのために借り入れた企業債である『借入資本金』で、約59億1千万円となります。

企業債（長期借入金）が民間企業のように負債に計上されないのは、資産取得のための財源が企業債に依存して

問い合わせ

課業務係  
業務係

☎ 5501

Eメール: [suidoubu@city.noboribetsu.hokkaido.jp](mailto:suidoubu@city.noboribetsu.hokkaido.jp)